

## Ⅱ 今後の課題と取組み

※詳細については、  
「安全性向上3カ年計画」  
[http://www.c-nexco.co.jp/corporate/safety/three\\_year\\_plan/](http://www.c-nexco.co.jp/corporate/safety/three_year_plan/)  
「経営計画2014 チャレンジV」  
<http://www.c-nexco.co.jp/corporate/company/challenge/>  
をご参照ください。

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ① 安全性向上3カ年計画

「安全性向上3カ年計画」は、当社が2013年2月1日に公表した「安全性向上に向けた取組み」を具体化したものであり、「二度とこのような事故を起こしてはならない」という深い反省と強い決意のもと、再発防止に向けて、事故後直ちに取組んでいる施策も含め取りまとめ、同年7月26日に公表したものです。



# 1. 安全性向上の不断の取組み

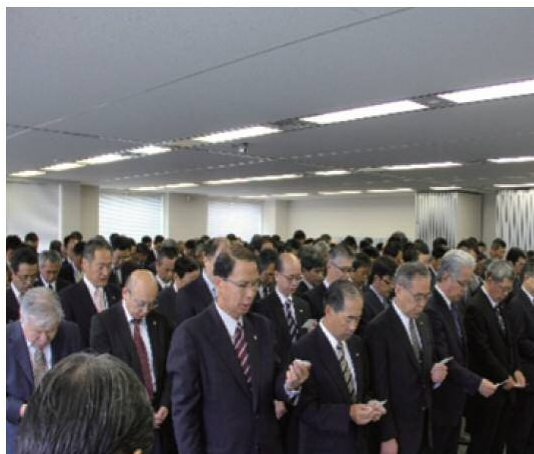
## ① 安全性向上3カ年計画

NEXCO

### 1 安全を最優先とする企業文化の構築

▶「お客さまの安全が何よりも優先する」という安全意識を社員に徹底し、安全に関する知識を深めます。

- ・研修や会議など社員が集まる場で「安全性向上3カ年計画実行にあたっての姿勢(行動指針)」を唱和します。
- ・毎月、安全をテーマにした職場討議を行います。
- ・社外から専門家を招いて安全に関する講演会を開催します。



「行動指針」の唱和



職場討議の実施

▶グループ内のコミュニケーションを活性化し、安全に関する現場の課題を共有します。

- ・経営陣が現場に足を運び、高速道路の点検作業に参加することなどによって、経営陣と現場のコミュニケーションを強化します。
- ・事故の事例や安全に関する情報を国内外から収集し、社内のオンライン掲示板を通じて全社員に共有します。



「安全性向上キャラバン」(2013年8月)

経営陣の基本点検参加(2014年4月)

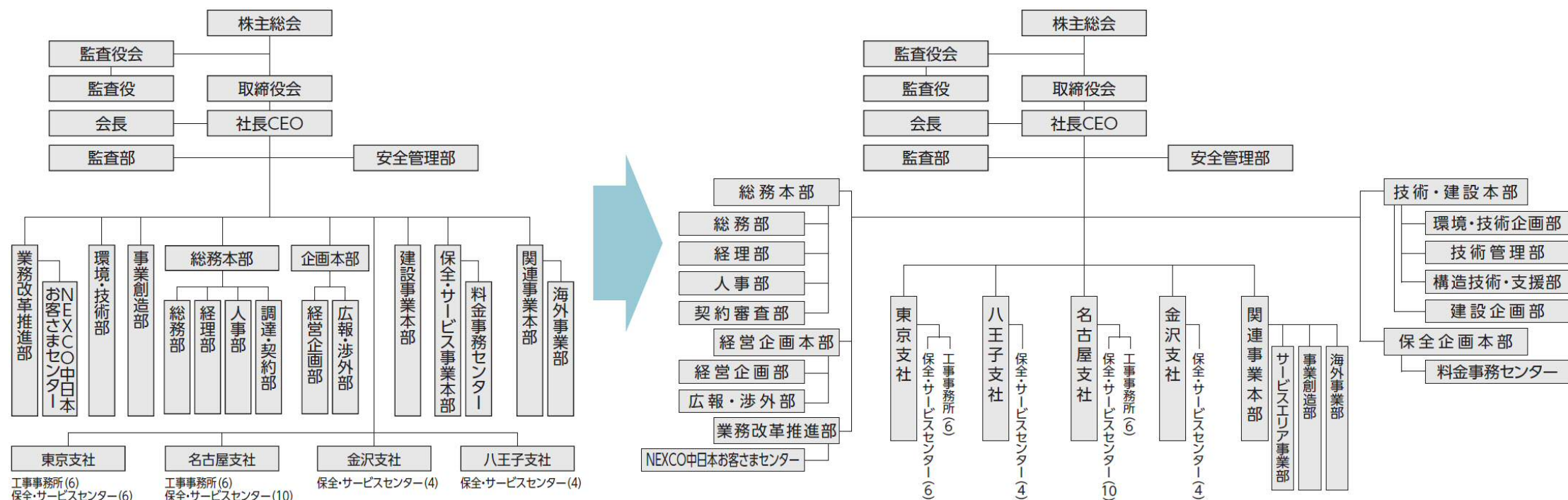


※「基本点検」  
第三者被害の防止を含む管理区間全体の構造物の状況把握等を目的とした年1回以上実施する定期点検

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ① 安全性向上3カ年計画

・「安全性向上3カ年計画」のより着実な実行に向け、事業執行体制を見直しました(2014年4月1日～)。



○安全を中心とした現場の課題の迅速・的確な解決、指示命令系統・権限責任の明確化

・事業計画策定や執行管理などの事業執行機能を地域拠点である支社へ集約

○点検から維持補修にいたる業務のマネジメント能力を強化する体制の整備

・技術・建設本部内に環境・技術企画部、技術管理部、構造技術・支援部を設置

環境・技術企画部…… 点検の高度化等に向けた技術開発、人材育成 など

技術管理部…………… 維持管理に配慮した技術基準の策定 など

構造技術・支援部…… 経年劣化や潜在的リスクに対応した専門的な知見による技術支援 など

○現場体制の強化

・保全・サービスセンター等に127名の保全担当要員を増員(2014年8月1日現在)

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ① 安全性向上3カ年計画

NEXCO

### 2 構造物の経年劣化や潜在的リスクに対応した業務プロセスの見直し

▶ 構造物の経年劣化や潜在的リスクに対応した点検要領・マニュアルに見直します。

▶ 高速道路の建設段階から保全段階まで、事業サイクルを通じて構造物の潜在的リスクを低減します。

- ・維持管理段階で明らかとなった不具合を、維持管理部門から建設部門へフィードバックして改善に活かします。
- ・社内の専門技術者等からなる「構造物のリスクに関する調査検討会」を開催して潜在的リスクの洗い出しを進め、点検や補修業務に反映します。



構造物のリスクに関する調査検討会での検討状況

▶ 新技術の開発により、点検・補修の品質と効率を向上させます。

- ・画像処理による点検技術を東京大学と共同研究するなど、点検・補修技術の高度化を図ります。
- ・学識経験者からなる「橋梁モニタリング検討会」を開催し、橋に取り付けたセンサーから収集したデータを分析して橋の健全度を評価します。

#### 画像処理による点検技術



時速100kmで走行しながら高精細な画像を撮影し、異常を自動的に検出する点検技術の導入を検討します。撮影イメージ(左)／時速100kmで走行中に撮影した画像(右・ジェットファンの取付金具部分)

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ① 安全性向上3カ年計画

NEXCO

### 3 安全管理体制の確立

▶ 安全指導及び安全監査並びに構造物の品質管理巡回指導の実施などにより、安全管理体制を強化します。

▶ 安全に関する取組みについて情報を分かりやすく開示します。

- ・安全に関するKPI(重要業績評価指標)とその達成状況を公表します。
- ・点検計画やその実施結果等、業務プロセスの「見える化」に取り組みます。

▶ 安全性向上3カ年計画の取組状況を社外の有識者からなる安全性向上有識者委員会に報告し、ご意見をいただきます。



安全性向上有識者委員会での審議状況

### 4 体系化された安全教育を含む人材育成

▶ 点検・補修技術に関する知識や技術力を向上させるための研修制度及び資格制度を設け、高度な技術的知見を有する専門家や現場を指揮できる技術者を育成します。

- ・点検判定の実務者向け「点検・補修マネジメント能力認定研修」を開始します。
- ・NEXCO東日本・NEXCO西日本と共同して、点検に関する資格制度を創設します。

橋梁点検技術研さん・研究用施設

**n<sup>2</sup>U-BRIDGE**

(呼称:ニューブリッジ)

全国で更新に伴い撤去された橋梁を再利用した研修施設を名古屋大学構内に設置。橋梁点検技術の教育や研修、技術の継承、研究成果の検証などに活用します。



n<sup>2</sup>U-BRIDGEを活用した研修

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ① 安全性向上3カ年計画

### 5 安全性向上に向けた事業計画

トンネル内に設置した換気ダクト、門型標識柱その他の重量構造物の撤去又は移設など、次の安全対策を実施します。

(億円)

安全性向上3カ年計画に基づく安全対策を含む修繕計画	2013年度実績	2014年度計画	2015年度計画	3カ年見込み
<b>I .安全性向上に向けた事業計画</b>	520	547	1,283	2,350
①顕在化した損傷などに対して集中的に実施する施策 (2015年度までに完了する施策)	140	165	485	790
道路などに設置された構造物の撤去・移設又は二重の安全対策など ◆直ちに行うトンネル天井板の撤去など ◆門型標識柱、料金所のコンクリート製の上屋などの撤去 ◆トンネル内接着系アンカーボルト使用の大型標識などの移設 ◆ジェットファン・撤去できない標識、情報板などの二重の安全対策	137	102	211	450
コンクリート剥落対策(重要交差箇所及び変状があり機能低下している箇所) ◆橋梁、トンネル、カルバート・ボックス	3	63	274	340
②潜在的リスクへの対応を含め安全を長期的に確保していくための施策 (2016年度以降も継続して実施する施策)	380	382	798	1,560
道路構造物の耐久性向上など ◆橋梁床版取替え、特殊橋梁耐震補強、電気設備更新など	342	346	747	1,435
点検環境改善施策など ◆トンネル監視員通路設置、橋梁検査路設置など	38	34	48	120
点検データ管理システム改良	0	2	3	5
<b>II .その他の事業費(環境対策、給排水設備改良など)</b>	37	30	33	100
<b>総額(I + II)</b>	<b>557</b>	<b>577</b>	<b>1,316</b>	<b>2,450</b>

(安全対策の実施例)

重量構造物の安全対策



コンクリート剥落対策



非常用設備更新



監視員通路の設置



事業の内容や事業費の内訳は、今後の点検の結果や優先順位の見直しにより変更する場合があります。

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ① 安全性向上3カ年計画

・ 笹子トンネル天井板落下事故を踏まえ、直ちに取り組む施策として取り組んできている、道路上などに設置されている構造物（トンネル天井板や換気ダクト等の重量構造物など）の撤去・移設又は二重の安全対策を推進しています。

【天井板】(笹子トンネル以外)《2トンネル・3チューブ》全て撤去完了 ※チューブ:トンネルを上下別に1つとした単位

トンネル数	都道府県	道路名	トンネル名	上下線区分	トンネル延長(m)	天井板の延長(m)	撤去時期
1*	長野・岐阜	中央道	恵那山	下	8,489	8,489	2013.6.21~7.9
2	神奈川	東名	都夫良野	下(右)	1,656	13	2013.9.2~9.5
	神奈川	東名	都夫良野	下(左)	1,689	11	2013.6.30~7.5

【換気ダクト類】《11トンネル・17チューブ》うち16チューブ撤去等完了  
《撤去するもの》

トンネル数	都道府県	道路名	トンネル名	上下線区分	トンネル延長(m)	天井板の延長(m)	撤去時期
3	岐阜	東海北陸道	各務原	下	3,015	24	2013.6.18
4	静岡	東名	日本坂	上(右)	2,370	26	2013.6.27~7.8
	静岡	東名	日本坂	下	2,555	34	
(1)*	長野・岐阜	中央道	恵那山	上	8,649	227	2013.7.9~7.10
5	静岡	東名	蒲原	上	704	53	2013.7.16~7.19
	静岡	東名	蒲原	下	714	38	
6	静岡	東名	興津	上	505	52	
	静岡	東名	興津	下	521	37	
7	静岡	東名	清見寺	上	780	37	
	静岡	東名	清見寺	下	785	52	
8	富山	東海北陸道	袴腰	対面通行	5,932	23	2013.11.11~11.13
9	福井	北陸道	今庄	上	2,755	62 換気ダクト・東西坑口部	2014.3.18~5.19
	福井	北陸道	今庄	下	2,756	52 東西坑口部	
10	福井	北陸道	敦賀	上	3,225	25	

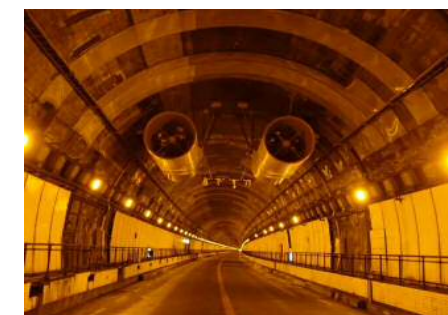
《撤去しないもの》

トンネル数	都道府県	道路名	トンネル名	上下線区分	トンネル延長(m)	対象物の延長(m)	対応方針
11	東京	圏央道	川口	上	1,952	13	2014.10.27(二重の安全対策完了)
12	東京	圏央道	八王子城跡	上	2,386	150	環境対策用であり、部材補強による二重の安全対策を準備中、対策が完了するまでは点検強化及びセンサーによる監視強化
13	静岡	新東名	富士川	上	4,503	32	2014.5.22(二重の安全対策完了)

恵那山トンネル(下り線)  
天井板撤去



天井板の搬出状況



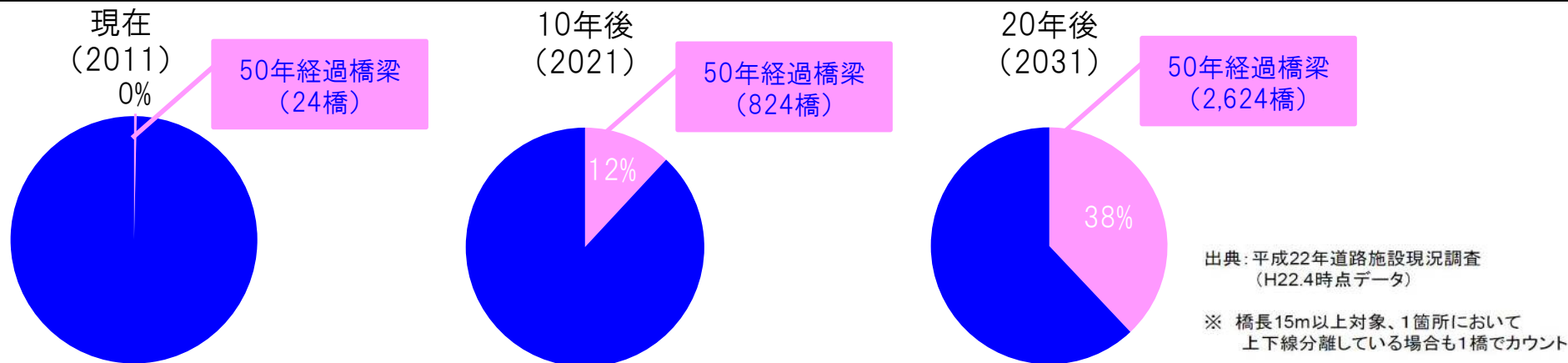
天井板撤去後  
(ジェットファン設置)



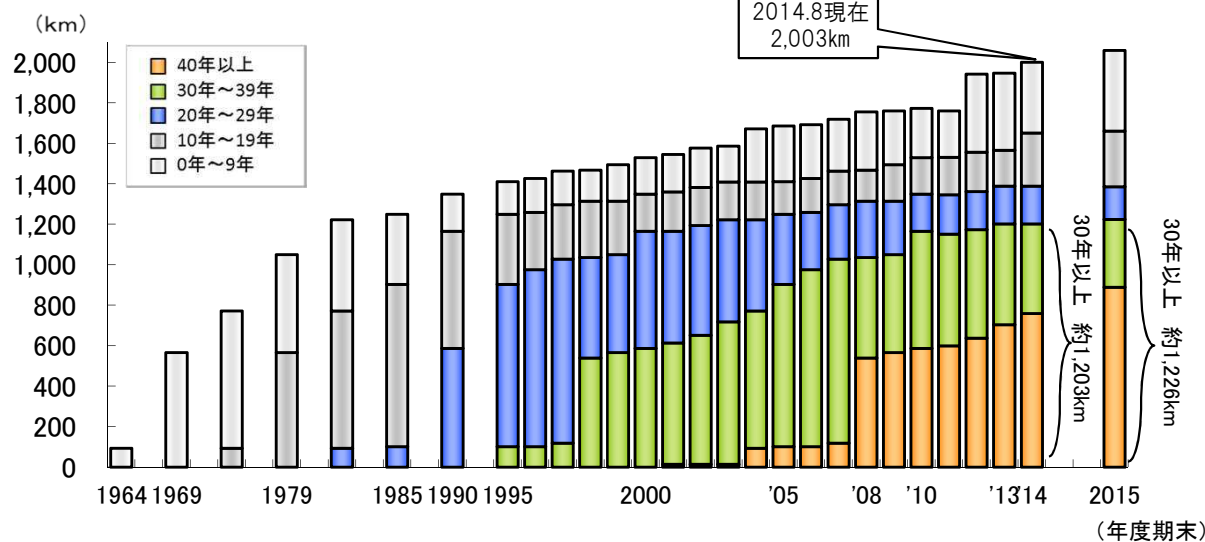
# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ② 道路老朽化対策の本格実施

- ・我が国の高速道路の橋梁(橋長15m以上)は約6,900橋※
- ・全国の橋梁における築後50年以上の割合は0.3%(2011年時点)



- ・NEXCO中日本の管理する高速道路は1,949km(2014年4月現在)
- ・供用後40年を経過する東名・名神をはじめ、**供用後30年を経過する道路が全体の約6割を占める。**



⇒事後保全から計画保全への転換とともに、長期的な視点からの大規模更新・大規模修繕が必要

# 1. 安全性向上の不断の取組み

## ② 道路老朽化対策の本格実施

2014年1月、NEXCO中日本は、NEXCO東日本・NEXCO西日本と3会社連名で、高速道路の大規模更新・大規模修繕に関する概略計画を公表しました。この概略計画では、重大な変状に進展するおそれがある約2,110kmの高速道路について大規模更新・大規模修繕を必要としており、その概算事業費を3兆200億円と見込んでいます。

### ▶ NEXCO3会社において検討した計画(概略)

(延長及び事業費は、いずれも高速道路3会社の合計です。)

	区分	項目	主な対策	延長[km] ※1	概算事業費[億円] ※2
大規模更新	橋梁	床版	床版取替	230	16,500
		桁	桁の架替	10	1,000
	小計			240	17,600
大規模修繕	橋梁	床版	高性能床版防水 など	360	1,600
		桁	桁補強 など	150	2,600
	土構造物	盛土・切土	グラウンドアンカー 水抜きボーリング など	1,230	4,800
	トンネル	本体・覆工	インバート など	130	3,600
小計			1,870	12,600	
合計			約2,110km	約30,200億円	

※1: 上下線及び連絡等施設を含む延べ延長です。 ※2: 2014年1月時点。また、端数処理の関係で合計が合わないものがあります。

また、道路法施行規則の一部改正(2014年7月施行)を受けて、保全点検要領を改訂し、確実に点検を実施します。

今後、新たな保全点検要領に基づく確実な点検の実施や、大規模更新・大規模修繕事業の具体化に向けて、必要な調査研究・技術開発、計画管理費を含む財源の確保、通行規制等による影響その他の課題について、関係機関と連携して検討を進めます。

床版取替



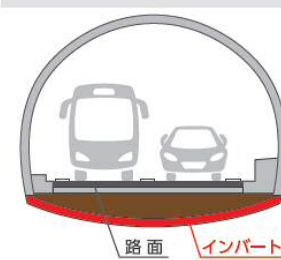
桁補強



グラウンドアンカー



トンネルインバート

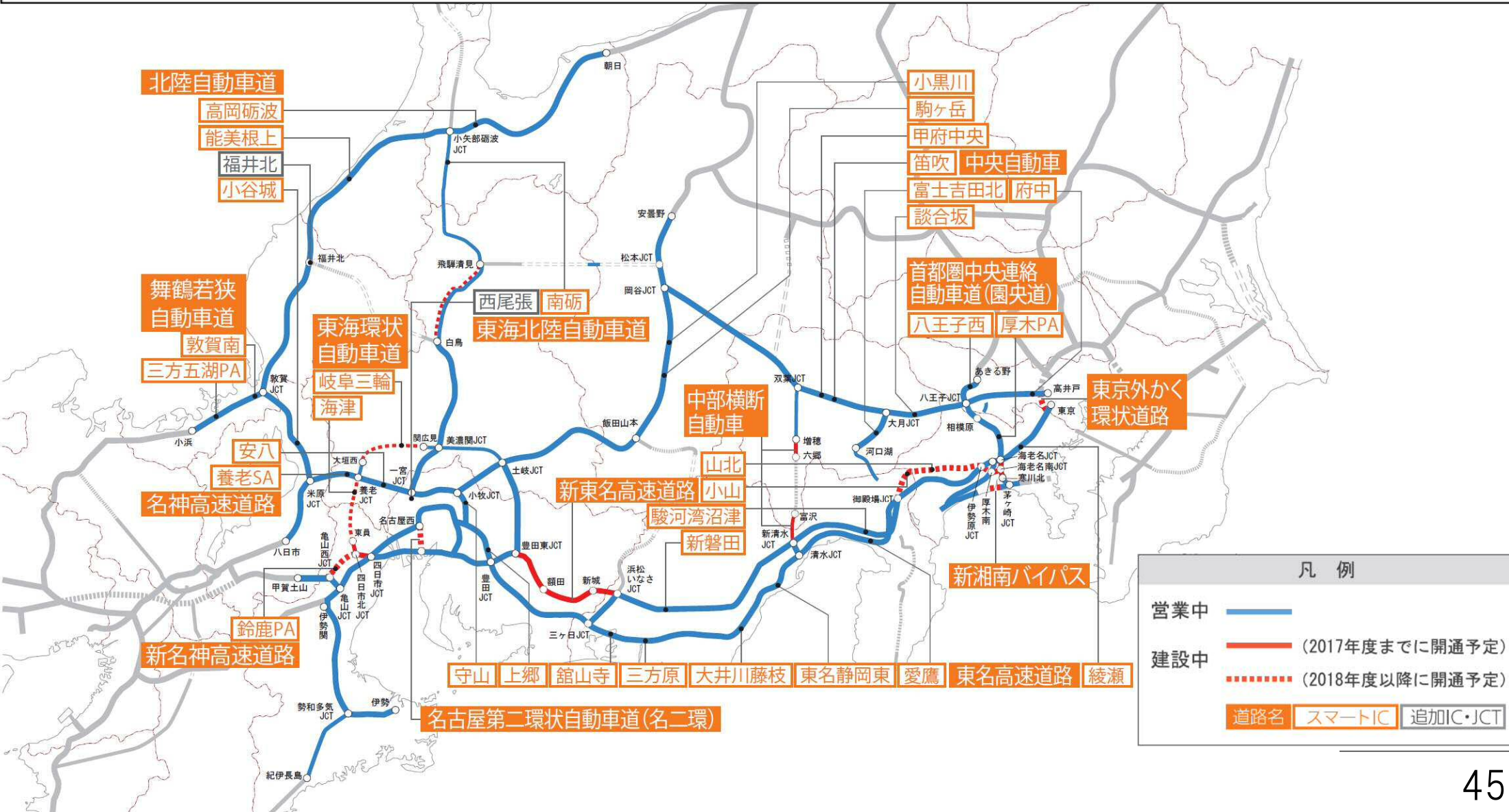


# 2. すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を

NEXCO

## ① 高速道路ネットワークの建設

▶ 2017年度までに、新たに96kmの高速道路を開通させ、計2か所の追加インターチェンジ(IC)及びジャンクション(JCT)並びに25カ所のスマートインターチェンジを整備します。また、事業を効率的に推進し、建設コストの削減に取り組めます。



# 2. すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を

NEXCO

## ②災害に強い高速道路づくり

▶ 高速道路やサービスエリアの防災機能を強化して、災害発生時には、お客さまの避難や救援部隊の活動を支援します。

・業務継続計画(BCP)に基づき、お客さまの避難に備えて、当社が管理するすべてのサービスエリアにおいて防災備蓄を行います。また、避難誘導訓練、情報伝達訓練及び防災備蓄品のオペレーション訓練を実施します。



災害時における休憩施設の活用(イメージ)



救護テントの組み立て訓練



防災備蓄倉庫

・法面(のりめん)や橋梁などの構造物の点検を行い必要に応じて補強対策を実施します。

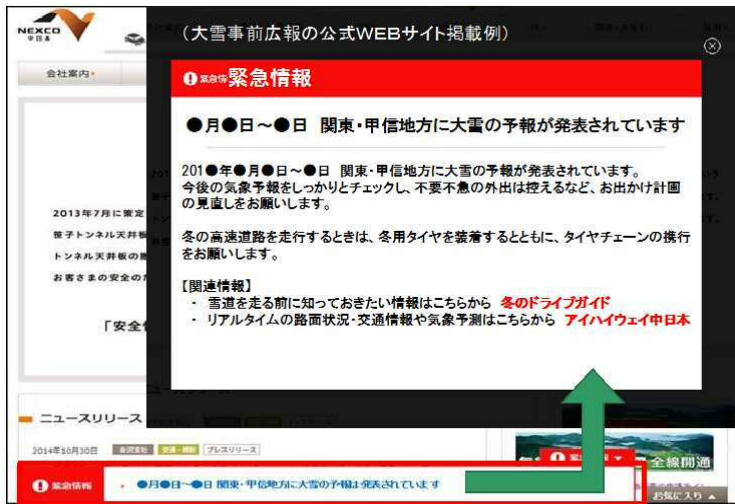
# 2. すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を

## ②災害に強い高速道路づくり

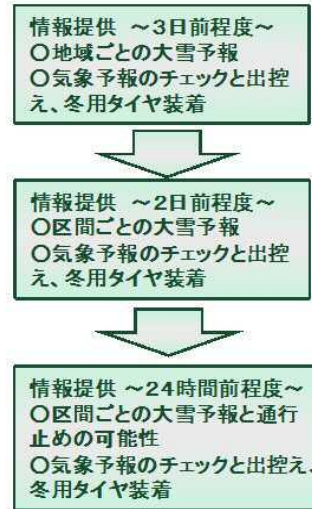
NEXCO

▶ 雪氷対策を強化して冬季の安全な通行を確保します。

・お客さまに対する大雪時の出控えや冬用タイヤ装着の啓発について、事前の大雪広報や情報提供を充実します。



公式WEBサイト【情報提供例】



公式WEBサイト等【ステップ例】



広域情報板【情報提供例】



公式WEBサイト  
【雪道ドライブガイド(イメージ)】

・除雪体制の強化や関係機関との連携強化を図ります。

- 除雪機械の増強(2013年度冬期に長期間通行止めとなった地域)
- スタック車両の早期発見・早期排除体制の強化
  - ①早期発見のためのカメラ設置や早期排除のためのレッカ-車の事前配置等
  - ②改正災害対策基本法への対応
- 優先路線への応援体制の構築、関係機関との連携
- GPSを用いた、除雪車両の位置の常時把握



ロータリー除雪車による排雪作業状況

# 2. すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を

## ③ 交通事故防止・安全対策

NEXCO

▶ ソフト対策とハード対策の両面から交通事故の削減と走行環境の改善に取り組み、ISO39001(道路交通安全マネジメントシステム)により施策の効果の検証と最適化を行います。

- ・交通安全キャンペーンや高速道路交通安全セミナーの開催、安全走行ガイドや渋滞予測ガイドの提供など、安全啓発活動を展開します。また、重大事故につながりかねない車両制限令違反の車両に対して、関係機関と連携して取締りや指導を行います。
- ・重大事故を防止するためのハード対策を推進します。

### (ソフト対策の例)

セーフティドライブ情報

安全に高速道路をご利用いただくために、ひとりひとりがセーフティドライブを心がけましょう。

 <p>マナーガイド1 マナーガイド2</p>	交通ルールを守ることはもちろん、運転マナーも意識して、安全で快適なハイウェイドライブを。	 <p>安全・安心・快適なハイウェイドライブ</p>
 <p>セーフティドライブ・シアター</p>	高速道路を安全で快適に過ごすための、6つの注意点をアニメーションで学びましょう。	特に注意が必要な『要注意箇所』を紹介。安全走行のアドバイスや、安全対策の概要もわかりやすく解説します。 高速走行の要注意箇所

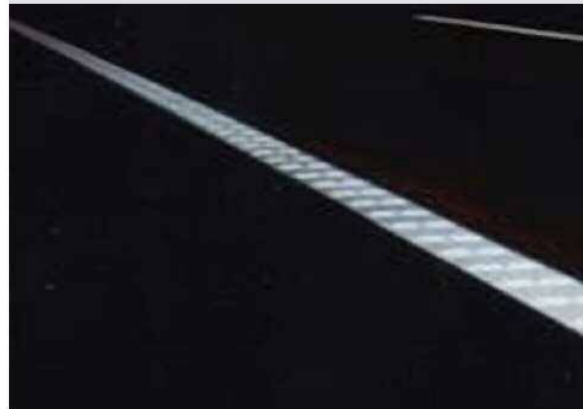
### (ハード対策の例)

ガードレール改良



高速道路外への車両の逸脱を防止します。

高輝度レーンマーク



車線の視認性を高め、車線逸脱を防止します。

高機能舗装



雨天時の水はねが少ない高機能舗装を整備します。/ 従来(左)と高機能舗装(右)

# 2. すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を

## ④ 渋滞対策

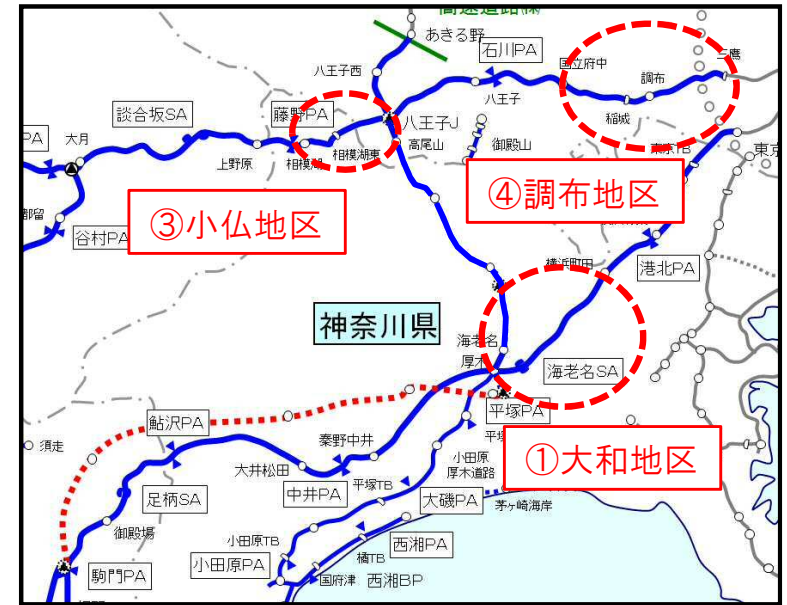
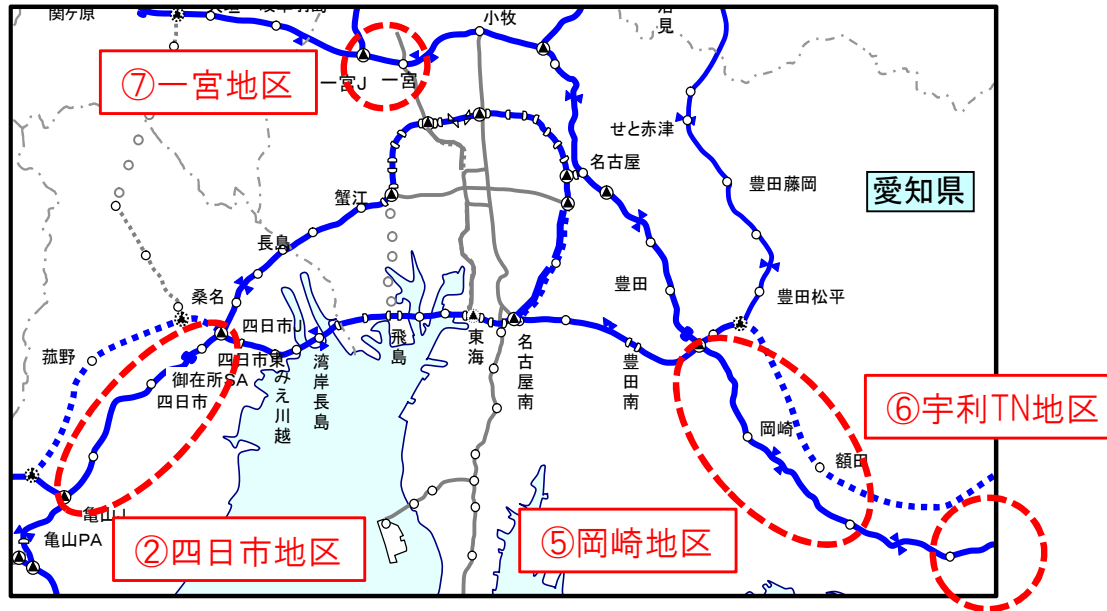
NEXCO

▶ 渋滞のボトルネックとなる箇所への付加車線の整備など、渋滞対策を推進します。

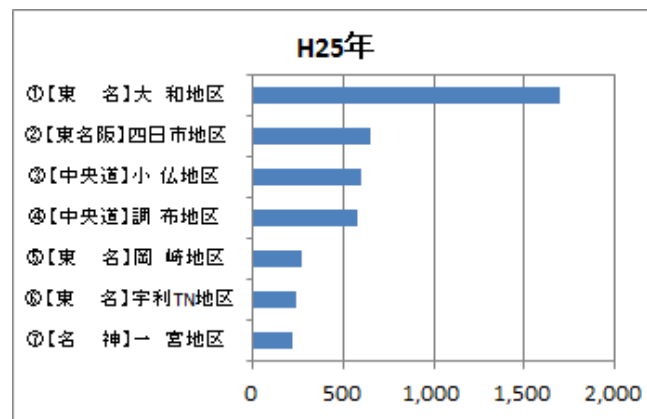
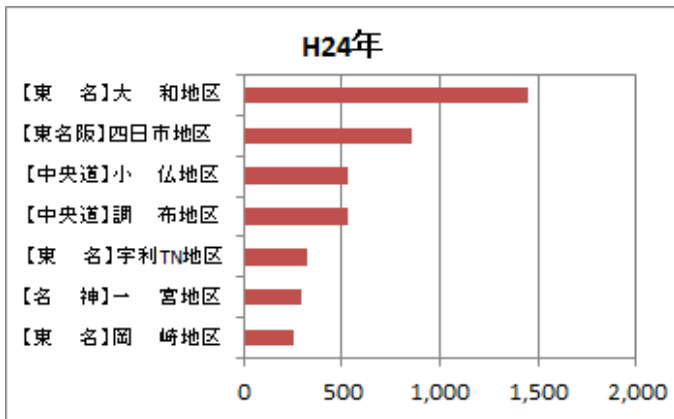
主な渋滞ポイント

《名古屋地区》

《東京地区》



ボトルネック別渋滞損失時間(千台・時間)※



渋滞対策検討状況

- ① 2012年度付加車線事業化
- ② 2018年度新名神開通予定(暫定3車線運用中:2012.12~)
- ③ 渋滞ボトルネック対策協議会において検討中
- ④ 渋滞ボトルネック対策協議会において検討中
- ⑤ 2015年度新東名開通予定(暫定3車線運用中:2011.10~)
- ⑥ 2015年度新東名開通予定
- ⑦ 渋滞ボトルネック協議会において検討中

※ 渋滞損失時間とは、平常時は規制速度、渋滞時は25km/hで走行した場合に発生する時間差を計上

# 2. すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を

## ⑤ サービスエリア

NEXCO

▶ 新たな時代を象徴する「NEOPASA」(ネオパーサ)や、これまでのサービスエリアの概念を超えた「EXPASA」(エクスパーサ)を軸に、お客さまの多様なニーズにお応えします。

### NEOPASA

・これまで以上にお客さまに楽しんでいただける、新鮮で魅力ある売り場づくりを進めます。また、商業施設全体で統一感を持った集客イベントの開催や、地元の採れたて野菜を販売する農産物直売所等の設置により品数の充実を図るなど、地域のお客さまにもより便利にご利用いただけるよう、サービスエリアの付加価値を更に高めます。

### EXPASA

・地元で話題の店舗や隠れた銘店を誘致するなど、サービスエリアのコンセプトに沿った売り場づくりに取り組みます。また、サービスエリアの特徴に合致した新たな業種・業態の導入や、更に魅力的なテナント誘致に取り組みます。

### 営業中のその他のサービスエリア

・これまでにない業種・業態設定に基づく売り場・売り方を個々のエリアで実現するとともに、娯楽性を備えた新たな集客イベント等を開催します。

### 建設中区間のサービスエリア

・サービスエリアの地域特性に応じて、「自然を体感できるエリア」や歴史的背景を踏まえた「戦国エリア」などのコンセプトを設け、それぞれに特徴を持ったサービスエリアを整備していきます。また、山間部地域に立地するサービスエリアでは、生活・医療・行政支援など地域のニーズに応えられるサービスエリアづくりをめざします。





# 3. 飛躍へのたゆまぬ挑戦

※施策については主なものを抜粋

▶ イノベーションを加速し、新たな事業領域に挑戦し続けます。

- ・自治体と連携して地域価値の向上につながるような不動産開発を行います。2015年春、東海環状自動車道土岐南インターチェンジの隣接地に複合商業施設を開業します。
- ・高速道路の高架下スペースを活用して、店舗や駐車場など、地域の利便性向上につながる施設を設置します。
- ・当社が保有する遊休地を活用して、マンションや戸建住宅の分譲宅地を開発します。

▶ NEXCO中日本グループが持つ技術・ノウハウを活用し、アジア・欧米の高速道路事業を中心に、他企業と連携しながら海外事業を推進します。

- ・海外の有料道路事業への投資や、高速道路の点検・維持管理業務、ITS関連事業などを展開します。
- ・高速道路事業と親和性の高い企業と協力し、国際貢献に資する案件を中心にコンサルティング業務を受注します。

▶ 安全・安心の向上、道路の長寿命化や環境持続可能社会に寄与する技術開発を推進します。

- ・運転者の脳の活動を可視化することにより、目に入りやすく分かりやすい標識の検討や、ドライバーの速度感覚をコントロールして登り坂において速度低下を防ぐ渋滞対策、下り坂において速度を抑制する交通安全対策などを客観的に評価し、効果を高めるための方法を研究します。
- ・インターチェンジから高速道路本線への人・自転車の立入りを防止するためのセンサー技術の導入をめざします。
- ・高速道路で使用する維持作業車両の電気自動車(EV)化の研究を進め、EV標識車の実証実験を行います。

# 4. 数値目標・KPI(2014～2017年度)

## ①数値目標

NEXCO

(億円:グループ連結)

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
建設事業	道路資産完成高	3,529	7,198	1,865	1,951
	道路資産完成原価	3,529	7,198	1,865	1,951
	税引前利益	0	0	0	0
	開通延長(新設)累計(2014年度～)	58km	118km	129km	150km
	(道路資産完成高累計・2014年度～)	3,529	10,727	12,592	14,544
	保全・サービス事業	道路資産完成高	403	975	419
道路資産完成原価		443	1,015	419	394
高速道路料金収入		5,885	6,288	6,389	6,423
道路資産賃借料		4,106	4,484	4,570	4,590
営業費用等		1,779	1,804	1,819	1,833
税引前利益		△40	△40	0	0
高速道路事業	税引前利益	△40	△40	0	0
関連事業	税引前利益	60	69	77	90
全社計	税引前利益	20	29	77	90
	税引後利益	13	19	50	58

注1) 高速道路事業の目標値について

国土交通大臣の認可を受けた2014事業年度事業計画及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構(以下「機構」といいます。)との協定に基づく数値に、その後の事業進捗の状況を反映しています。

注2) 高速道路事業について、2014年度及び2015年度にそれぞれ40億円の損失を見込んでいます。これは、国の平成24(2012)年度補正予算において高速道路会社が実施することとされた高速道路の緊急補修・耐久性向上に係る事業の一部について、事業に要する費用に充てるために当社が負担した債務を機構による債務引受の対象としないことを予定しているためです。

[参考]

(単位:億円)



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
サービスエリア店舗総売上高	1,801	1,832	1,935	1,992

# 4. 数値目標・KPI(2014～2017年度)

## ②KPI

NEXCO中日本グループは、グループの現在の姿を示す指標として重要業績評価指標(KPI:Key Performance Indicator)を設定しています。これらの指標によって施策の達成状況を把握し、効果的に事業を進めることで皆さまの期待にお応えします。

カテゴリ	測定指標	単位	2013年度 目標	2013年度 実績	2014年度 目標	2015年度 目標	2017年度 目標	
安全	死亡事故率(※1)	人/10億 台・km	1.4	2.2 <span style="color:red">□</span>	1.9	1.6	1.1	
	橋梁補修 数(※1)	橋	①変状が発生しており早期に補修を行う橋梁数	36	37 <span style="color:green">■</span>	70	58	29
			②軽微な変状が進行する前に計画的に補修を行う補修数	45	45 <span style="color:green">■</span>	78	77	49
	道路上の重量構造物に対する安全対策進捗率(※1)	%	23	21 <span style="color:orange">■</span>	62	100	—	
お客さま 安心	お客さまの安心感 当社の道路は安全で、安心して運転できると感じるお客さまの割合	%	71.2	70.2 <span style="color:orange">■</span>	72.7	74.2	77.2	
	通行止め時間(※1)	時間	2,730	5,428 <span style="color:red">□</span>	3,148	3,214	2,319	
	事故・災害・雪によるもの		929	4,247 <span style="color:red">□</span>	1,658	1,637	1,637	
快適・感動	渋滞量(※1)	千km・ 時間	153.5	148.7 <span style="color:green">■</span>	162.0	154.4	125.7	
	交通集中・事故等に起因するもの		120.8	126.6 <span style="color:orange">■</span>	123.4	113.4	112.0	
	CS調査値 高速道路事業とサービスエリア事業のお客さま満足度の平均値	点	64.3	62.8 <span style="color:orange">■</span>	66.7	69.2	74.0	
	感動指数(※1)	点	39.6	44.6 <span style="color:green">■</span>	45.2	45.8	47.1	

※1 2013年度の達成状況等を踏まえて目標値を見直しました。

【凡例】2013年度の達成状況  
 目標達成 : ■  
 10%未満の不達 : ■  
 10%以上の不達 : □

# 4. 数値目標・KPI(2014～2017年度)

## ②KPI

カテゴリ		測定指標	単位	2013年度 目標	2013年度 実績	2014年度 目標	2015年度 目標	2017年度 目標
社会的責任	コンプライアンス	コンプライアンスに関するeラーニング受講率	%	100	99.9 ■	100	100	100
		コンプライアンス意識浸透度(※1)	%	93	85 ■	93	100	100
	環境	CO <sub>2</sub> 排出量(※2) オフィス活動によるもの	t-CO <sub>2</sub>	7,343	6,910 ■	6,841	6,841	6,841
		CO <sub>2</sub> 削減量(ネットワーク整備等による削減効果)(※3)	万t-CO <sub>2</sub>	—	—	19	21	24
拡大成長技術	関連事業	サービスエリア店舗総売上高(※1)	億円	1,750	1,750 ■	1,801	1,832	1,992
	技術開発	パテント出願件数	件	17	17 ■	18	20	22
組織・人材	モチベーション	ES調査値(働きがい)	点	3.58	3.46 ■	3.62	3.66	3.66
	イノベーション	イノベーション提案具現化件数(※3)	件	—	—	40	75	125
	ダイバーシティ	女性管理職数(※4)	人[累計]	—	—	5	6	8
生産性	生産性	建設コスト削減累計額(※1)	億円[累計]	290	337 ■	367	389	430
		サービスエリア事業売上高営業利益率(※1) サービスエリア事業営業利益/サービスエリア事業営業収益	%	13	12 ■	12	15	18

※1 2013年度の達成状況等を踏まえて目標値を見直しました。

※2 環境省が2013年度に公表した排出係数で算出しています。経営計画2013公表時の目標値「9,142(t-CO<sub>2</sub>)」は2012年度に公表された排出係数で算出したもので、2013年度に公表された排出係数で算出すると「7,343(t-CO<sub>2</sub>)」になります。

※3 施策への取組みとその効果や達成状況の関係をより直接的に把握するため、次の項目について測定対象及び目標値を見直しました。  
**CO<sub>2</sub>削減量(ネットワーク整備等による削減効果)**: 一般道の自動車交通が高速道路に転換して走行速度が上昇し、燃費が改善することによって削減が見込まれるCO<sub>2</sub>排出量を、2005年度との比較で示したものです。

**イノベーション提案具現化件数**: 社内からのイノベーション提案を活用して業務改善などを実現した件数です。

※4 国の取組みに合わせて管理職の範囲を見直しました。

【凡例】2013年度の達成状況  
 目標達成 : ■  
 10%未満の不達 : ■  
 10%以上の不達 : □

# 5. NEXCO中日本グループの企業ビジョン(めざす姿)

NEXCO

## 『道を通じて感動を 人へ、世界へ』

私たちはお客さまに私たちのサービスを通じて、感動を得ていただけるように常に努めていきます。この感動を、より幅広くさまざまな人へ、さまざまな国へ広げていきます。そして未来につないでいきます。

[2030年のあるべき姿]

**「夢」を実現できる会社**

